



ファームウェアバージョン :	V4.4.1.2
ハードウェアバージョン :	A1
発行日 :	2015/12/18

本リリースノートには、ファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用の製品に対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しい製品にインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用の製品がファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次 :

変更履歴とシステム要件 :	2
注意事項 :	2
USB ドライブへのコンフィグ自動バックアップ/自動リストアについて	2
アップグレード手順 :	4
Web-UI を使用するアップグレード	4
追加機能 :	6
修正した問題点 :	6
既知の問題 :	8

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム：V4.4.1.2	2015/12/18	DWC-1000	A1

注意事項：

- アップグレードするファームウェアは、すでに本製品に入っているファームウェアと同じ地域向けのものを使用してください。
- ハードウェア：A1 のファームウェアとハードウェア：B1 のファームウェアは互換性がありません。ファームウェアバージョンアップ前に、必ずお使いの機器のハードウェアバージョンを確認し、B1 のみに適用するようにしてください。
- V4.1.0.2_10204 から V4.2.0.6 以降のファームウェアに直接アップグレードを行うと、一部の設定が引き継がれません。設定を引き継ぐ必要がある場合は、R4.2.0.6 に同梱されている V4.1.0.1_10222 にアップグレードしてから、V4.2.0.6 へアップグレードし、その後、V4.4.1.2 にアップグレードを行ってください。
- ハードウェア：B1 は“Web Recovery Mode”をサポートしています。ファームウェアが損傷した場合、以下の手順で DWC-1000 にアクセスできます。
 - (1) DWC-1000 の電源を切ります。
 - (2) リセットボタンを押したまま電源を入れ、リセットボタンを 15 秒以上押し続けます。
 - (3) DWC-1000 が“Web Recovery Mode”になります。IP アドレスは 192.168.1.1 です。お使いの PC のブラウザで“Web Recovery Mode”にアクセスするには、PC の IP アドレスを 192.168.1.1 と同じ IP セグメントに設定してください。
- GNU/Linux Bash Shell の脆弱性について(CVE-2014-6271)
DWC-1000 は、GNU/Linux Bash Shell に対する脆弱性はありません。CLI および Web インタフェース経由で Shell インタフェースを使用することがないためです。
- SRTP メモリリークについて(CVE-2014-3513)
DWC-1000 は、SRTP メモリリークに対する脆弱性はありません。
- 4.4.1.2 から古いバージョンにダウングレードする場合は、設定がリセットされます。

USB ドライブへのコンフィグ自動バックアップ/自動リストアについて

本製品は USB ドライブへコンフィグを自動的にバックアップ/リストアすることができます。
以下はバックアップ/リストアについての情報です。

- USB ドライブが挿入されるとすぐに、コンフィグは自動的に USB ドライブへ保存されます。ファイル名は“<モデル名>_<シリアルナンバー>.cfg”になります。(※USB ドライブ内にすでにバックアップされたコンフィグファイルが存在しない場合のみ)
- 本製品のシステム LED が橙色に 5 回点滅した場合は、バックアップが開始されています。
- Web GUI の「Save Settings」をクリックすることで、USB ドライブにコンフィグを更新することができます。ただし、すでに USB ドライブ内に保存されているコンフィグファイルと、新しく保存するコンフィグのモデル名とシリアルナンバーが一致する必要があります。
- リブートを行った場合、本製品はコンフィグファイル（<モデル名>_<シリアルナンバー>.cfg）の有無をチェックします。コンフィグファイルが存在した場合は、そのファイルがリストアされます。

2つのUSBドライブにコンフィグファイルが存在した場合、1つ目のUSBドライブにあるファイルがリストアされます。

5. USBドライブに保存できるのは、各モデル名につき1つのコンフィグのみです。(フォーマットは、“<モデル名>_<シリアルナンバー>.cfg”です)
6. 工場出荷時状態の本製品にUSBドライブを挿入しリブートを行った場合は、USBドライブにコンフィグは保存されません。本製品に設定を変更したコンフィグファイルが存在しないためです。Web GUIの「Save Settings」をクリックすることで、USBドライブにコンフィグが保存されるようになります。

アップグレード手順：

Web-UI を使用するアップグレード

1. Web GUI にログインします。

IP アドレス、サブネットマスク、ユーザ名、パスワードの初期値は以下の通りです。

- IP アドレス：192.168.10.1
- サブネットマスク：255.255.255.0
- ユーザ名: admin
- パスワード: admin

2. **TOOLS > Firmware** の順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。

Product Page: DWC-1000 Hardware Version: Firmware Version: 4.2.0.6_WW

D-Link®

DWC-1000 // SETUP ADVANCED **TOOLS** STATUS HELP

Admin
Date and Time
Log Settings
System
Firmware
Firmware via USB
System Check
License

FIRMWARE LOGOUT

This page allows user to upgrade/downgrade the router firmware. This page also shows the information regarding firmware version and build time.

Firmware Information

Firmware Version:	4.2.0.6_WW
WLAN Module Version:	4.2.0.1
Firmware Date:	Wed Jan 29 19:13:20 2014

Firmware Upgrade

Locate & select the upgrade file: 参照...

Upgrade

Helpful Hints...

The router's firmware can be upgraded here, and the current version is displayed on this page. Another useful feature is to check online for newer versions of firmware, which will update the status field.

More...

WIRELESS CONTROLLER

3. 「ファイルを選択」をクリックしてファームウェアイメージの場所を選択→「Upgrade」をクリックします。

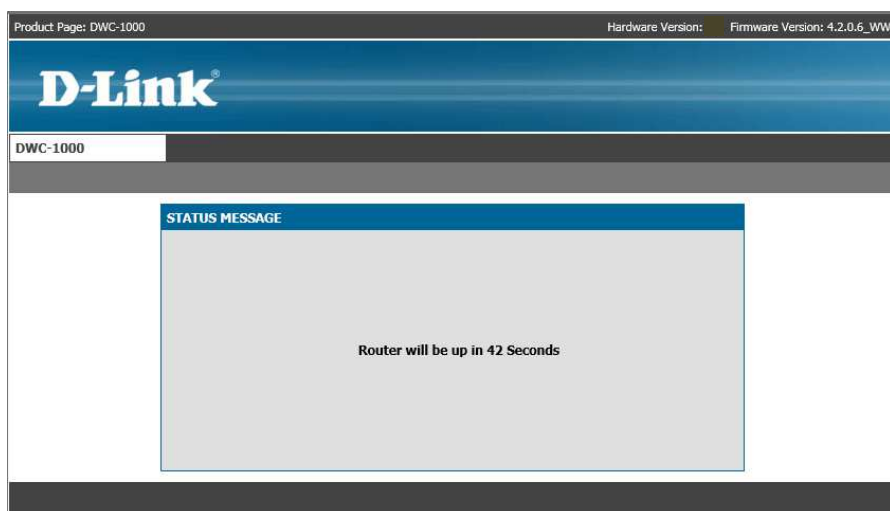
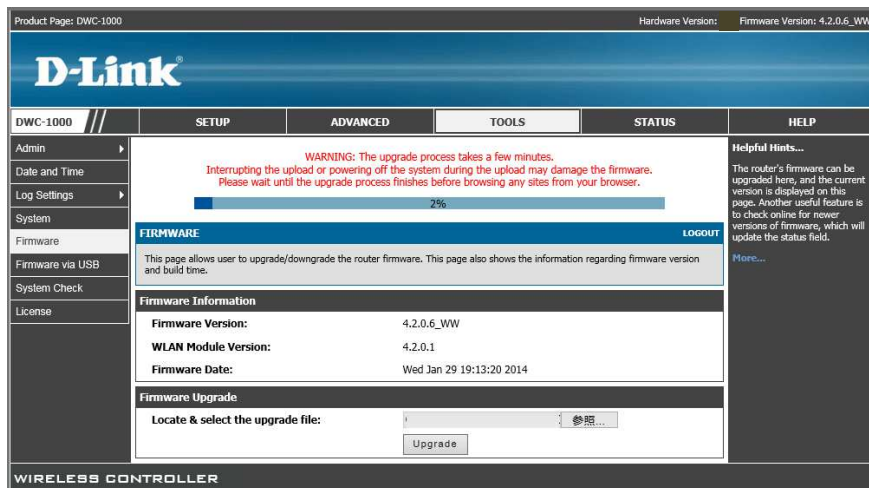
4. 確認画面が表示されるので、「OK」をクリックします。

5. 進行状況を表す画面が以下の順に表示されます。

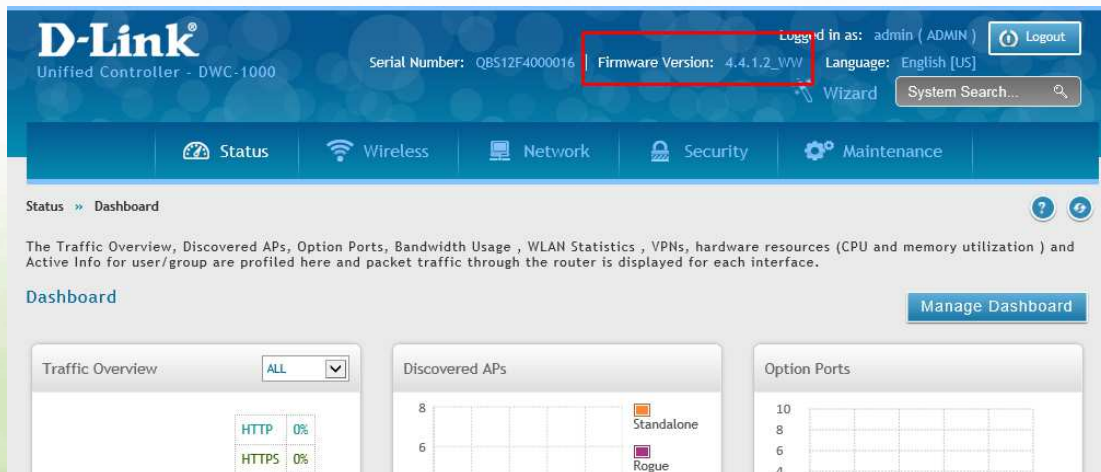
注意：

ファームウェアのアップグレードには数分かかります。

アップグレード中は、電源を切ったり Web ブラウザを閉じたりせず、そのままお待ちください。



6. 再度 Web GUI にログインし、ファームウェアバージョンを確認します。



追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
V4.4.1.2	<ol style="list-style-type: none"> 1. GUI インタフェースを更新致しました。 2. 最大クライアント数の初期値を 30 に変更致しました。 3. DHCP スコープのリース範囲を拡大致しました。 4. L3 Discovery ページの IP スコープを拡大致しました。 5. CLI コマンド (util schedule-reboot) によるスケジュールリブートをサポート致しました。 6. CLI コマンド(show system status)で、Reboot Trace Code の表示をサポート致しました。 7. CLI コマンド(system users delete_user <user_name>)によるローカルユーザの削除をサポート致しました。 8. CLI コマンドによるライセンスの削除/無効化をサポート致しました。 9. AP データベースの最大数を、DWC-1000 で現在管理可能なライセンス AP 数の 4 倍の数に致しました。

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
V4.4.1.2	<ol style="list-style-type: none"> 1. AP プロファイル SSID ページに正しくない CP タイプが表示される問題を修正致しました。 2. リブートの際のメッセージが正しくない問題を修正致しました。 3. DWL-8610AP が WEP 暗号化をサポートしていないにもかかわらず、DWC-1000 では WEP 暗号化のオプションを持っていた問題を修正致しました。 4. 「Select All」 ボタンが表示されない問題を修正致しました。 5. 管理 AP の DWL-8610AP について、RF スキャン画面で 5G と 2.4G の表示が逆になっている問題を修正致しました。 6. "internet connection wizard"で PPPoE の接続タイプを選択した場合に、"@ "および ". "を使用できない問題を修正致しました。 7. PPPoE セットアップウィザードを使用している場合、PPPoE 設定において 16 文字以上のユーザ名を設定できない問題を修正致しました。 8. 管理 AP 画面の表示情報が正しくない問題を修正致しました。 9. Web GUI からログアウトしてしまう場合がある問題を修正致しました。 10. ファームウェアダウンロードにかかる時間がわかりやすくなるよう WebGUI を修正致しました。 11. DWL-8610AP について、管理 AP ステータスの周波数帯詳細が正しく表示されない問題を修正致しました。 12. ADVANCED> AP Profile 画面のデフォルト AP プロファイルで、ハードウェアタイプに "Any" を選択すると 11ac モードがサポートされない問題を修正致しました。 13. AP プロファイルの周波数帯モード画面の記載について、Radio 1 と Radio2 の動作モードが正しく表示されない問題を修正致しました。 14. モバイルデバイスにおいて、Captive Portal のリダイレクト機能が動作しない問題を修正致しました。 15. DWC-1000 で新しい VLAN を追加すると、LAN リースクライアントエントリがフラッ

- シュされる問題を修正致しました。
16. Client Association/Roaming/Disassociation ログが位置情報を表示しない問題を修正致しました。
 17. QoS 画面で帯域幅のリミットを設定できない問題を修正致しました。
 18. SNMP QoS Differentiated Service をサポート致しました。
 19. walk 動作中の MIB ブラウザにおいて、すべての OID を取得できない問題を修正致しました。
 20. Internet Explorer 11 で Captive Portal ログイン後にエラーが起こる問題を修正致しました。
 21. 別の VLAN でリレーが設定された場合、VLAN 内の DHCP サーバが応答しない問題を修正致しました。
 22. DWC-1000 から、DWL-8610AP のファームウェアアップグレードができない問題を修正致しました。
 23. DWC-1000 から DWL-6600AP に Radius サーバ詳細を配信することができない問題を修正致しました。
 24. DWL-8610AP のハードウェア名が DWC-1000 で正しく表示されない問題を修正致しました。
 25. CVE-2015-0291 / CVE-2015-0204 の脆弱性の問題を修正致しました。
 26. Java Applet が最新の Java を HW:B1 にロードしない問題を修正致しました。
 27. Wlan Visualization が HW:A1 と同様の動作をしない問題を修正致しました。
 28. Diagnostics 画面から、IPv6 アドレスの Trace Route/Ping ができない問題を修正致しました。
 29. 無線モードを 802.11b に設定して保存した場合に、AP Profile Radio 画面では 802.11b/g として保存される問題を修正致しました。
 30. DWL-8610AP を使用している場合、RF スキャン画面の Observed Status of Physical モードが正しく表示されない問題を修正致しました。
 31. DWC-1000 がリスタートする必要がある問題を修正致しました。
 32. 時間設定を固定した状態で、自動チャネル機能が動作しない問題を修正致しました。
 33. 5Ghz 帯で自動チャネル機能が正しく動作しない問題を修正致しました。
 34. DHCP サーバが動作をストップする問題を修正致しました。
 35. AP の詳細情報表示において、コントローラの MAC アドレスが正しく表示されない場合がある問題を修正致しました。
 36. "Tools -> Schedules"から、スケジューラ機能の設定が正しく行えない問題を修正致しました。
 37. ログアウト Web ページの Usage 表示と Front Desk ユーザの View account での Usage の表示が異なることがある問題を修正致しました。
 38. VLAN の設定変更を行おうとすると、"VLAN doesn't exist"のエラーメッセージが表示される場合がある問題を修正致しました。
 39. DWC-1000 でいくつかのメニューページが開かない場合がある問題を修正致しました。
 40. AutoRollover を使用して Option ポート 1-2 が切り替わった場合に、DDNS をアップデートできない問題を修正致しました。
 41. OpenSSL (CVE-2014-3566) の脆弱性の問題を修正致しました。
 42. Billing Profiles 設定で、フロントデスクユーザが有効期限を設定できない問題を修正致しました。
 43. 期限の切れた Captive Portal ユーザが自動的に削除されない問題を修正致しました。
 44. OpenSSL (CVE-2014-0224) の脆弱性を修正致しました。
 45. JAVA のアップデートが正しく行われない問題を修正致しました。

- 46. DWC-1000 がリブートした後に WPA キーが変更される問題を修正致しました。
- 47. Captive Portal の時間がログイン後もカウントダウンされない問題を修正致しました。
- 48. クライアント数が実際には多くないにもかかわらず最大値に達し、新しいクライアントが接続できなくなる問題を修正致しました。
- 49. SSID の設定中に CLI でエラーが発生する問題を修正致しました。
- 50. PPPoE モードを使用した際、Web メールで添付ファイルを送付できないことがある問題を修正致しました。
- 51. ネットワークにおいてダウンロードのスピードが遅いことがある問題を修正致しました。
- 52. Null Byte Injection アタックに対する脆弱性の問題を修正致しました。
- 53. CLI でログインする際、パスワードに"\$"の文字を使用できない問題を修正致しました。
- 54. RADIUS アカウンティングを設定できない問題を修正致しました。

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題
V4.4.1.2	<ul style="list-style-type: none"> 1. Captive Portal のログイン画面に Purchase フレームが表示されない問題。 2. IPv6 WAN がスタティックに設定されている場合、ルータが WAN ホストから prefix advertisement(RADVD)を使用して IP を設定しない問題。 3. AP Failure ステータスタイムアウトが動作しない問題。 4. PFS キー"DH-GROUP 17"および"DH-GROUP 18"で IPSEC VPN トンネルを確立できない問題。 5. AD-HOC クライアントを検知できない問題。 6. ファーストキーパラメータが RIP2B/2M に対応していない場合、セカンドキーパラメータを使用して認証とルートエクスチェンジができない問題。 7. radvd のフラグオプション管理が正しく動作しない問題。 8. 'other'フラグ機能が radvd 画面で正しく動作しない問題。 9. CLI からオプション 1 のポートスピードを設定できない問題。 10. 初期値の LAN、VLAN、WLAN が同一のサブネットに設定できる問題。 11. PPTP/L2TP クライアントが特別文字で設定されたパスワードをもつ PPTP/L2TP ユーザーに接続できない問題。 12. SSID configuration 画面にクライアント QoS を設定する欄がない問題。 13. Transparent モードの機能が動作しない問題。 14. CLI でサーバ/クライアントのユーザタイムアウトコマンドが正しく動作しない問題。 15. ダッシュボード画面において、帯域幅使用率と使用中のアプリケーションについてのヘルプコメントがない問題。 16. GUI およびコンソールでプリンタ関連のログを取得できない問題。 17. マニュアルゲートウェイポリシーの Integrity アルゴリズムで CLI は SHA2-224 に 24 文字を使用可能だが、GUI では 28 文字使用可能である問題。 18. プロファイルタイプが送信先 UDP ポートナンバーの場合、ポリシーベース LAN の QoS ポリシー機能が動作しない問題。 19. WAN がロードバランシングで動作していると、デバイスの LAN/VLAN から Access サーバの LAN ヘトラフィックを転送することができない問題。 20. LAN および WAN がリスタートした後、UPnP 機能が動作しない問題。 21. SNMP コミュニティ欄に特殊文字を使用できる問題。 22. DWL-8610AP でスキャンした Neighbor AP がデバイスで確認できない問題。

23. Shell 内のシャドウファイルが 644 パーミッション(-rw-r--r--)を保持している問題。
24. コンフィグファイルおよびデータベースにおいてユーザ名とパスワードが平文で表示される問題。
25. アカウントが有効時間を設定してもテンポラリユーザが認証されない問題。
26. D-View から DHCP Reserved IP 設定ができない問題。
27. Linux および Windows のホストで、java 7 update 51 を使用した SSLVPN トンネルの確立ができない問題。
28. ハードウェアタイプが ANY でも AP プロファイルへ DWL-8610AP を設定できる問題。
29. Radio Scheduler のヘルプの内容がアップデートされていない問題。
30. CLI において、IGMP、WDS グループの設定を行うオプションがない問題。
31. MAC 認証画面において、ユーザが同じ MAC アドレスのエントリを追加しようとした際に、動作完了のメッセージが表示される問題。
32. CLI において、Firewall>Blocked Clients を設定するオプションがない問題。
33. CLI で行った自動チャネルの設定が GUI に反映されない問題。
34. WEP キーの長さに対してバリデーションチェックがない問題。
35. CLI において、SLA のサービスルールのタームを変更するオプションがない問題。
36. Peer 設定画面の内容が CLI と一致していない問題。
37. CLI から MAC 認証クライアントのエントリを削除できない問題。
38. SNMP v3 ユーザは認証パスワードの一覧を表示し、プライバシーパスワードは CLI で暗号化する必要がある問題。
39. CLI において、USB からのアップグレード/リストアを行うオプションがない問題。
40. CLI において、アクセスポイントのファームウェアダウンロードとファームウェアステータスのオプションがない問題。
41. CLI において、無効なドメインで NTP サーバを設定できる問題。
42. CLI において、パワープランの設定とパワープランのステータス閲覧ができない問題。
43. CLI において、分散型トンネリングの最大クライアント数を無効な範囲に設定できる問題。
44. CLI において LAN のデフォルトデフォルトウェイとホストマッピングの詳細を表示できない問題。
45. CLI で userdb オプションを取得できない問題。
46. CLI で IPv6 プレフィックス長のリストを設定できない問題。
47. DWL-8610AP と DWL-8600AP との間に WDS リンクを確立できない問題。
48. PayPal からの複数ユーザ生成をサポートしていない問題。
49. デバッグログの'teamf1.ascii'ファイルでパスワードが平文になっている問題。
50. WDS AP Link List で、ユーザがエントリを追加/編集できない問題。
51. WDS リンク画面で、送信先のハードウェアタイプと送信先の周波数タイプが正しく表示されない問題。
52. WDS リンクと WDS が管理している AP のエントリを削除せずに、WDS グループを削除できてしまう問題。
53. 'Rf Scan other channels'オプションを無効にしても、動作中のチャネル以外のチャネルのスキャンを実行する問題。
54. クラスタコントローラから、Peer コントローラのペイメントゲートウェイ設定を取得できない問題。
55. クラスタコントローラから、Peer コントローラの SLA 設定を取得できない問題。
56. AP Profile Radio 画面のサポートされている無線チャネル情報と、Edit Channel/Power 画面の Radio-1 のドロップダウンリストが一致していない問題。
57. USB 画面にファームウェアのヘルプコンテンツがない問題。

58. VLAN の Captive Portal を Permanent から Temporary ユーザに変更した後、認証タイプが GUI および CLI で正しく表示されない問題。
59. "show system dashboard"コマンドが GUI で表示される内容すべてを表示しない問題。
60. CLI から、タイプをポート名にしたトラフィックセクタを追加できない問題。
61. CLI で、GUI には表示される Captive Portal およびワイヤレス関連のログを確認できない問題。
62. CLI で IP/MAC バインディングルールを設定しても、GUI に反映されない問題。
63. IPSec ポリシーを、Phase-1 を aes-128/md5、Phase-2 を des/sha-512 に設定し、dh-group を group5 に設定すると、カーネルパニックが発生する問題。
64. RSA 証明書を CLI 経由でアップロード/生成するオプションがない問題。
65. 管理 AP のプロファイルを削除しようとするとき "Operation Failed" のメッセージが表示される問題。
66. ユーザが同一の Payment Receiver Email ID で複数の Payment ゲートウェイを登録しようとするとき、"Operation Failed" のメッセージが表示される問題。
67. Peer からクラスタへ WDS グループの設定を送信できない問題。
68. D-View 画面で、有効な PPTP/L2TP ユーザの表示がサポートされていない問題。
69. クライアントが分散型トンネルのローミング AP と接続していると、クライアントのリースされた IP アドレスをデバイスが表示しない問題。
70. CLI で、option-1 のポートマネジメントを設定できない問題。
71. 同じ MAC アドレス/同じ SSID を持つ 2 つの AP が、2 つの異なるコントローラで管理されているとき、WIDS classification 画面がステータスの警告を表示する問題。
72. ユーザがドメイン名でアカウントリングサーバを設定した場合、RADIUS アカウントリング機能が動作しない問題。
73. 40-bit MPPE 暗号化で、PPTP クライアントトンネルを確立できない問題。
74. VLAN 設定画面で、いくつかの項目についてヘルプコンテンツがない問題。
75. CLI で Facebook Wi-Fi を設定することができない問題。
76. 新しい GUI の DHCP reserved, Port-triggering, Firewall, Ip/mac binding 画面で、ユーザがリミット以上の設定を行える問題。
77. WAN モードが自動ロールオーバーに設定されている場合に、WAN1 DDNS 設定を、WAN2 へのロールオーバー後に GUI で WAN2 にアップデートできない問題。
78. SSL ポリシーで使用されているリソースをユーザが削除できる問題。
79. ユーザがすでに存在しているリソース名でリソースを追加しようとするとき、デバイスが正しくないエラーメッセージを送信する問題。
80. サーバチェックのステータスが画面を更新するまで表示されない問題。
81. openvpn を設定するコマンドが CLI に存在しない問題。
82. CLI から、特殊文字を使用して AP プロファイル名を追加できる問題。
83. CLI から無効なサブネットマスクを設定してもエラーメッセージが表示されない問題。
84. "Select All" ボタンが Discovery 画面で機能していないため、すべての AP を管理することができない問題。
85. 2.4GHz のチャンネルで 1~14 チャンネルの選択肢が表示される問題。
※チャンネル 14 は使用できません。

Copyright 2006-2015 D-Link Japan K.K.